

東安居地区の誇り

下市山ミルクコースと歴史の散歩道



地区西側に位置する下市町に地区住民らの手により整備され、平成18年に完成した「下市山ミルクコース」がある。下市山は海拔260m程の低い山で、頂上からは胸のすくような景色が広がり福井の街並みが一望でき、はるか彼方には白山連邦から日野山までも見渡せる絶好の場所である。登山口も、みくりや清水側・下市側・ため池側・弘祥寺側・金屋町側の五ヶ所あり、いずれのコースからも頂上広場までは約1時間で登ることができ、身近な登山コースとして地区内外の愛好家に親しまれている。3月～4月にはコース沿いのカタクリの花も開花し、ため池側コース沿いの「かたくりの路」は県内有数の群生地とされる。コースは地区のボランティアグループ「菜の花公夢典」により、定期的に管理され登山道・案内板などが整備されている。

ミルクコースの山のふもとには、南北朝時代に足羽七城として築かれた「安居城址」があり、越前朝倉氏の祖広景の子正景が、康永元年に創建した「大治山弘祥護国禅寺」は、朝倉氏の滅亡後、灰燼に帰したが、御本尊の釈迦如来坐像と脇侍の立像は、今も京都の建仁寺に遷され本堂に御本尊として祀られている。また、継体天皇とゆかりのある「与須奈神社」があるなど、一帯が日野・足羽両川の合流点を望む地域の歴史を物語る歴史の散歩道となっている。



「菜の花公夢典」事務局長 川崎 栄嗣さん

局長の川崎さんは、「下市山ミルクコース」は、手軽なハイキングコースや登山のトレーニングの場として、幅広い年代の皆さんに親しまれています。歴史の散歩道と合わせてご堪能ください。詳しいマップは公民館にあります」と話す。

東安居公民館

住 所／福井市飯塚町6-18
電 話／0776-35-9566
交通機関／京福バス「水越」バス停
または「飯塚口」バス停
から徒歩5分